

『日本仏教社会福祉学会年報』 既刊号総目次

〔第48号〕平成30年刊行

〔日本仏教社会福祉学会 50周年慶讃音楽法要〕

「代表理事挨拶」「祝辞」

〔50周年記念大会〕

基調講演 「学会五十年の学びと今後の課題

—キリスト教社会福祉の歴史的展開にも学びながら—

長谷川匡俊

〔50周年記念大会 大会シンポジウム〕

「仏教社会福祉の展望と課題」

シンポジスト 長崎 陽子

宮城洋一郎

石川 到覚

コーディネーター 池上 要靖

特別コメンテーター 中垣 昌美

〔平成28年度 日本仏教社会福祉学会 大会概要〕

〔事務局報告〕〔日本仏教社会福祉学会役員名簿〕〔編集後記〕〔会則・理事会規程〕

〔『日本仏教社会福祉学会年報』既刊号総目次・投稿規程〕

〔図書紹介〕

坂井祐円著『仏教からケアを考える』

目黒 達哉

〔研究ノート〕

仏教系幼児施設における生命尊重の心を育む動物介在活動

—移動動物園の活動事例を中心に—

百瀬ユカリ

〔研究論文〕

高齢者施設における宗教的な関わりの評価及び普及の可能性

—仏教関係の介護老人福祉施設での調査を通して—

河村 諒

〔第47号〕平成29年刊行

〔第50回大会 公開記念講演〕

基調講演 「アジアのソーシャルワークにおける仏教の役割

—共通基盤の構築に向けて—

石川 到覚

〔国際学術フォーラム報告〕

「仏教ソーシャルワークと西洋専門職ソーシャルワーク—次の第一歩—」

郷堀ヨゼフ

〔日本仏教社会福祉学会第50回大会記録・

淑徳大学創立50周年記念国際学術フォーラム大会記録〕

〔事務局報告〕〔編集後記〕〔会則・理事会規程〕

〔『日本仏教社会福祉学会年報』既刊号総目次・投稿規程〕

〔図書紹介〕

頼尊恒信著『真宗学と障害学

—障害と自立をとらえる新たな視座の構築のために—

吉村 彰史

木越康著『ボランティアは親鸞の教えに反するのか—他力理解の相克—』

佐賀枝夏文

〔第46号〕平成27年刊行

〔第49回大会 公開記念講演〕

基調講演 「建学の理念と災害支援—同朋大学におけるその関係性—」

沼波 政保

〔第49回大会 公開シンポジウム〕

「仏教社会福祉と災害支援—将来の災害支援に向けて—」

パネリスト

大河内真慈

竜沢 悟

木越 康

コーディネーター

田代 俊孝

〔研究ノート〕

相談援助におけるクライアントの「受容」と援助者の「自己覚知」をめぐる

—法然の凡夫観をてがかりに—

郡嶋 昭示

中原実道氏のカウンセリング理論について

曾根 宣雄

〔日本仏教社会福祉学会第49回大会記録〕

〔事務局報告〕〔編集後記〕〔会則・理事会規程〕

〔『日本仏教社会福祉学会年報』既刊号総目次・投稿規程〕

〔書籍紹介〕

藤森雄介著『仏教福祉実践の轍^{わだち} 近・現代、そして未来への諸相』

大久保秀子

浄土宗総合研究所仏教福祉研究会編『浄土宗の教えと福祉実践』

長崎 陽子

〔実践報告〕

「自宅・地域は終の住処となりえるのか」についての一考察

佐伯 典彦

〔研究論文〕

ソーシャルワークにおける仏教の役割に関する日本・ベトナム比較研究

—仏教保育研究における両国の現状に関する研究—

佐藤 成道

〔第44・45合併号〕平成26年刊行

〔第46回大会東日本大震災対応プロジェクト特別報告会〕

支援活動を通じて見えてきたネットワークの必要性

パネリスト

加藤 正淳

いのちの声に耳を澄ますボランティア

曹洞宗青年会による東日本大震災での災害復興支援活動

久間 泰弘

東日本大震災における全日本仏教会の取り組みについて

東田 樹治

コーディネーター

藤森 雄介

〔第47回大会公開講演〕

記念講演 「東アジアの高齢者自殺と仏教」	朴 光駿
基調講演 「災害支援と仏教社会福祉—東日本大震災の経験を通して—」	大村 英昭
〔第47回大会公開シンポジウム〕	
東日本大震災における日本仏教界の動向について	パネリスト 藤森 雄介
災害支援と日常活動における仏教の役割	栗田 修司
「心の相談室」の活動と「臨床宗教師」の提唱	谷山 洋三
	コメンテーター 大村 英昭
	朴 光駿
	コーディネーター 清水 海隆
〔第48回大会公開講演〕	
「災害支援と仏教社会福祉の課題」	多田 孝文
〔第48回大会公開シンポジウム〕	
東日本大震災被災地支援へ向けた本会の取り組みと経過	パネリスト 奈良 慈徹
寺院に特化した、本当に役立つ災害への備えを一冊のガイドブックに	
「寺院備災ガイドブック」の完成と今後の取り組み	自覚 大道
東日本大震災における日本仏教界の動向について	
(アンケート調査結果報告第二報)	藤森 雄介
	コーディネーター 清水 海隆
〔日本仏教社会福祉学会第47回大会記録〕	
〔日本仏教社会福祉学会第48回大会記録〕	
〔事務局報告〕〔編集後記〕〔会則・理事会規程〕〔既刊号総目次・投稿規程〕	
〔実践報告〕	
いただいたいのちを生き切るケアプランとは—仏教と居宅介護支援—	佐伯 典彦
高齢者を中心とした「交流の場」づくりの実践報告	大塚 明子・金田 寿世
—映画上映を素材として—	渡邊 智明・井手 友子
	矢吹 和子・五十嵐信泰
	壬生 真康・石川 到覚
〔研究ノート〕	
隠岐共生学園の社会事業—戦後の女学校・保育事業を中心に—	田中美喜子
〔第43号〕平成24年刊	
〔第46回大会特別企画〕	
子ども家庭福祉の動向と仏教社会福祉の可能性	柏女 靈峰
〔第46回大会誌上シンポジウム〕	
『仏教』が果たす役割とは—児童養護施設の現場から考える—	徳岡 博巳
地域に保育所が存在する意味	蒲池 房子
—お寺の保育園から発信するいのちの教育—	

第46回大会公開シンポジウムについて 特別企画について	コーディネーター	清水 教恵 編集委員会
〔研究論文〕		
災害救援者のための仏教を背景とした災害支援システムの必要性について —メンタルヘルスの視点から—		栗田 修司
臨終行儀書における介護・看病者の心得		長崎 陽子
仏教社会福祉における仏教保育研究の意義		佐藤 成道
〔事務局報告〕〔編集後記〕〔会則・理事会規程〕〔既刊号総目次・投稿規程〕		
〔実践報告〕		
死別に伴う在宅高齢者に対する宗教家の関わり方の検討		河村 諒
浅草寺福祉会館による思春期・青年期への支援事業		金田 寿世 井手 友子 壬生 真康 石川 到覚
〔研究ノート〕		
「法華七喩」について—仏教福祉の視点から—		吉村 彰史
緩和ケア病棟における宗教者の活動の現状 —ビハラーにおけるビハラー僧—		村瀬 正光
〔第42号〕平成23年刊		
〔第45回大会公開講演〕		
「弘法大師空海の高野山開創と『誓願』」		藤村 隆淳
「人権・差別の歴史と現状」		藤本眞利子
「空海思想と仏教社会福祉」		藤田 和正
〔第45回大会公開シンポジウム〕		
「仏教社会福祉から見た差別の構造とその克服」	パネリスト	小笠原正仁 大塚 秀高 近藤 祐昭
	コーディネーター	山口 幸照
〔日本仏教社会福祉学会第45回大会記録〕		
〔事務局報告〕〔役員名簿〕〔編集後記〕〔会則・理事会規程〕〔既刊号総目次・投稿規程〕		
〔研究論文〕		
日露戦争期における仏教団体の社会事業と地方改良事業 —仏教婦人会の事業活動を中心に—		名和月之介
浅草寺福祉会館活動の史的展開		金田 寿世 渡邊 智明 壬生 真康

	石川 到覚
〔調査報告〕	
緩和ケア病棟における仏教者の評価—遺族調査から—	村瀬 正光
〔第41号〕平成22年刊	
〔第44回大会公開講演〕	
学問としての仏教社会福祉に、いま、問われているもの	中垣 昌美
〔第44回大会公開シンポジウム〕	
前近代における仏教福祉の思想・実践の系譜について	シンポジスト 宮城洋一郎
—現代社会福祉へ問いかけるもの—	
死ぬ苦しみからの解放	シンポジスト 田久保園子
現代社会福祉における仏教社会福祉の存在理由	シンポジスト 長上 深雪
—現状を踏まえた将来展望—	コメンテーター 足立 勲
	武田 道生
	コーディネーター 石川 到覚
〔日本仏教社会福祉学会第44回大会記録〕	
〔事務局報告〕〔役員名簿〕〔編集後記〕〔会則・理事会規程〕〔編集規程・投稿規程〕	
〔論文〕	
バイステックの7原則と仏教思想—仏教理論の補完的導入—	池上 要靖
〔研究ノート〕	
カンボジアの“開発僧”の社会活動について	作田 光照
ビハーラ病棟での実践からみえてくる仏教者の役割	森田 敬史
〔投稿論文〕	
真宗障害者社会福祉に関する理論的研究	頼尊 恒信
—「われら」の地平をベースとして—	
〔実践報告〕	
生活困窮者のための葬送支援—平生から臨終の精神的苦痛を考える—	吉水 岳彦
正信偈に学ぶ仏教介護的視点について	佐伯 典彦
〔調査報告〕	
日蓮宗における社会福祉事業・活動の現状と課題（2）	藤森 雄介
—アンケート調査結果からの考察—	渡邊 義昭
〔第40号〕平成21年刊	
〔第43回大会公開講演〕	
北海道開教と「大谷」	太田 清史
北海道における仏教と司法福祉の歴史—大谷派の場合—	福島 栄寿

〔第43回大会公開シンポジウム〕

北海道における仏教と司法福祉—その歴史と課題— シンポジスト 寺永 哲
小熊 雄顕
コーディネーター 佐賀枝夏文

〔日本仏教社会福祉学会第43回大会記録〕

〔事務局報告〕〔役員名簿〕〔編集後記〕〔会則・理事会規程〕〔編集規程・投稿規程〕

〔調査報告〕

浄土宗寺院・住職の社会福祉実践と意識 石川 基樹
日蓮宗における社会福祉事業・活動の現状と課題（1） 藤森 雄介
—アンケート調査結果からの考察— 渡邊 義昭

〔研究論文〕

高齢者の安楽死における仏教的理念 齋藤 尚子
山口 幸照
浄土真宗本願寺派のビハーラ活動とその現代的意義 奈倉 道隆
北海道における開教と開拓に見る仏教社会福祉の原点 中垣 昌美
名和月之介

〔第39号〕平成20年刊

〔第42回大会公開講演〕

現代の課題—非合理なるがゆえにわれ信ず— 池田 勇諦

〔第42回大会公開シンポジウム〕

仏教の社会的実践・その現代的課題 シンポジスト 水谷たかし
—仏教・医療・福祉の接点— 田畑 正久
奈倉 道隆
コーディネーター 田代 俊孝

〔研究論文〕

セツルメント光徳寺善隣館の再評価—佐伯祐正の人間関係を中心として— 小笠原慶彰

〔海外情報〕

慈済会について 川村 伸寛

〔日本仏教社会福祉学会第42回大会記録〕

〔事務局報告〕〔役員名簿〕〔編集後記〕〔会則・理事会規程〕〔既刊号総目次・投稿規程〕

〔実践報告〕

老人デイサービス利用者への仏教介護的な相談・助言に関する試論 佐伯 典彦
終末介護期における認知症高齢者へのケアの在り方 伊東真理子

〔研究ノート〕

社会参加する仏教—原始仏教経典をケーススタディとして— 池上 要靖

〔研究論文〕

“ブツダ最後の旅”に見る仏教的ケアの在り方 玉井 威
 赤ん坊の研究—乳児福祉の根本問題— 金子 保

〔第38号〕平成19年刊

〔第41回大会公開講演〕

出世問道と菩薩道—仏教から見る人間と社会— 小山 一行

〔第41回大会公開シンポジウム〕

人権・社会問題と仏教社会福祉 シンポジスト 金刺 潤平
 寺本 是精
 近藤 祐昭
 コーディネーター 菊池 正治

〔日本仏教社会福祉学会第41回大会記録〕

〔事務局報告〕〔役員名簿〕〔編集後記〕〔会則・理事会規程〕〔既刊号総目次・投稿規程〕

〔調査報告〕

浄土宗寺院と住職の社会福祉に関する活動と意識についての一考察 鷲見 宗信

〔研究論文〕

心の象徴と心の哲学的均衡点—福祉実践の哲学的方法論— 藤田 和正
 聞名に開かれる共同体—真宗における健常者と障害者との共生の視座— 頼尊 恒信

〔第37号〕平成18年刊

〔第40回大会公開講演〕

私の中のキリスト教 西村 恵信

〔第40回大会公開シンポジウム〕

仏教とキリスト教の邂逅—その福祉実践と課題— シンポジスト 阿部 志郎
 秋山 智久
 中垣 昌美
 田代 俊孝
 コーディネーター 長谷川匡俊

〔日本仏教社会福祉学会第40回大会記録〕

〔事務局報告〕〔役員名簿〕〔編集後記〕〔会則・理事会規程〕〔既刊号総目次・投稿規程〕

〔特別寄稿〕

『仏教社会福祉辞典』編纂と今後の課題 中垣 昌美

〔調査報告〕

仏教福祉実践報告—訪問調査を通して— 徳田 恵
 石川 到覚
 長谷川匡俊

「浄土宗社会福祉事業・活動に関するアンケート調査」に関する一考察 関 徳子

〔研究ノート〕

- 仏教と心学の邂逅—遠江育児院をめぐる人びと— 三浦 辰哉
僧侶がコーディネーターする在宅福祉サービスについての考察 佐伯 典彦

〔研究論文〕

- 感化事業、社会福祉、海外支援活動 ランジャナ・ムコパディヤーヤ
—仏教感化救済会系教団にみられる近代仏教福祉の発展過程—
知的障害児はなぜ美の世界を創り出すのか 金子 保
—戸川行男の『特異児童』の研究を中心に—

〔第36号〕平成17年刊

〔第39回大会公開講演〕

- アジア諸国における社会福祉の動向と課題—社会開発アプローチの模索— 萩原 康生

〔第39回大会公開シンポジウム〕

- アジア諸国における仏教社会福祉—仏教は福祉従事者の養成にどう応えるか?—
シンポジスト 釋 恵敏
金 漢益
ウディタ ガルシンハ
ギャナ ラタナ
コーディネーター 石川 到覚

〔日本仏教社会福祉学会第39回大会記録〕

〔事務局報告〕〔役員名簿〕〔編集後記〕〔会則・理事会規程〕〔既刊号総目次・投稿規程〕

〔特別報告〕

- アジアの仏教徒と協同して始まった社会事業 小野 正遠
国を超えたいチャレンジワーク—アジア諸国に絵本を届けよう— 井手 友子
吉川 眞浩
金田 寿世
渡邊 智明
矢吹 和子
瀬川 恵子
石川 到覚
仏教的スピリチュアルケアの動向—タイと日本を事例にして— 浦崎 雅代

〔海外情報〕

- スリランカの難民子弟救援の仏教寺院 小野 文瑛

〔研究論文〕

- 仏教者の福祉活動再考—初期経典に見るサンガの活動— 池上 要靖
仏教とハンセン病—『妙法蓮華経』における「癩」字をめぐる—考察— 奥田 正毅

〔第35号〕平成16年刊

〔第38回大会公開講演〕

地域福祉における仏教者の役割を考える 志田 利

〔第38回大会公開シンポジウム〕

地域福祉における仏教者の役割を考える シンポジスト 石川 到覚

谷山 洋三

横山 義弘

志田 利

コーディネーター 池上 要靖

〔追悼文〕

仏教（真宗）カウンセリングを先駆けた西光義敬師逝く 中垣 昌美

〔研究ノート〕

壬生台舜と浅草寺福祉会館 金田 寿世

若林 清美

壬生 真康

石川 到覚

古義真言宗の近代社会事業史概観 北川 真寛

〔日本仏教社会福祉学会第38回大会記録〕

〔事務局報告〕〔役員名簿〕〔編集後記〕〔会則・理事会規程〕〔既刊号総目次・投稿規程〕

〔研究ノート〕

明治期にみる日蓮宗の児童保護事業の一考察 関 徳子

〔研究論文〕

鬼子母コンプレックス 金子 保

〔第34号〕平成15年刊

〔第37回大会公開講演〕

都市の中のもうひとつの癒しの場 秋田 光彦

—コミュニティと寺院の関係を再考する—

〔研究論文〕

仏教における慈悲と福祉 池田 敬正

〔実践報告〕

特養ホーム利用者への終末期の声かけに関する仏教的考察 佐伯 典彦

〔研究ノート〕

ビハーラ活動における超宗派の取り組み方について 大河内大博

—ビハーラ病棟での実践を通して—

〔日本仏教社会福祉学会第37回大会記録〕

〔事務局報告〕〔役員名簿〕〔編集後記〕〔会則・理事会規程〕〔既刊号総目次・投稿規程〕

〔実践報告〕

- 仏教福祉学のキーワードを探る その2・苦
ービハラー僧のスピリチュアルケアー 谷山 洋三
- 仏教系社会福祉施設運営・経営とリスクマネジメントの登場について 安部 行照
ー運営から経営へ変革迫られる社会福祉施設の課題ー

〔研究論文〕

- 感化救済事業奨励下の仏教慈善病院 中西 直樹
- 仏教ソーシャルワーカーの可能性を考える上で 熊澤 利和
- 仏教ソーシャルワーカーの可能性を考える上で 藤腹 明子
ースピリチュアルケアという側面に焦点をあててー
- 仏教ソーシャルワーカーの可能性を考える上でー期待と危惧ー 田宮 仁

〔第37回大会公開シンポジウム〕

「仏教ソーシャルワーカー」の可能性ー仏教社会福祉専門職養成にむけてー

- シンポジスト 石井 勲
森田 俊朗
落合 崇志
- コメンテーター 村井 龍治
- コーディネーター 小笠原慶彰

〔第33号〕平成14年刊

〔第36回大会公開講演〕

- 仏教・いのち・福祉 小川 一乗

〔日本仏教社会福祉学会第36回大会記録〕

〔事務局報告〕〔役員名簿〕〔編集後記〕〔会則・理事会規程〕〔既刊号総目次・投稿規程〕

〔資料紹介〕

- 完成初期の「成田山五事業」の概要及び成田感化院事業の特異性に関する一考察 藤森 雄介

〔実践報告〕

- 仏教福祉学のキーワードを探る その1・福田ービハラー病棟での実践を通してー 谷山 洋三

〔研究論文〕

- 仏教慈善病院「救世病院」と小林参三郎 中西 直樹

〔第36回大会公開シンポジウム〕

- 21世紀における仏教福祉の課題と展望 シンポジスト 東 一英
宇佐 晋一
三友 量順
長谷川匡俊

コーディネーター 佐賀枝夏文

〔第32号〕平成13年刊

〔公開講演〕

アフリカの人々と動物

諏訪 兼位

〔公開シンポジウム〕

子どもと仏教福祉

シンポジスト 佐賀枝夏文

小野木義男

寺西伊久夫

宇治谷義雄

コメンテーター 奈倉 道隆

コーディネーター 吉田 宏岳

〔研究論文〕

記憶障害者（健忘症）と介護者のみちゆき

喜多 祐荘

—孤独・求愛の真情に共感する存在（菩薩）—

仏教福祉と仏教看護

藤腹 明子

—看護における五つの側面の配慮を通して—

田宮 仁

近代仏教社会事業実践の成立と終焉

山口 幸照

—真言宗智山派を事例にして—

〔実践報告〕

浅草寺福祉会館における思春期への取り組み

金田 寿世

—スクールソーシャルワーク実践の試み—

渡辺 智明

石川 到覚

壬生 真康

〔研究ノート〕

仏教と精神保健福祉に関する研究

熊澤 利和

—家族の位置づけをめぐる—

介護サービス提供と仏教介護—介護実践の立場から—

佐伯 典彦

〔事務局報告〕〔会則・理事会規程〕〔会員名簿〕〔編集後記〕

〔第31号〕平成12年刊

〔公開講演〕

今、宗教福祉に問われるもの

阿部 志郎

〔公開シンポジウム〕

戦後日本の仏教系社会福祉事業の歩みと展望

シンポジスト 宮城洋一郎

落合 崇志

梅原 基雄

清水 海隆
コーディネーター 長谷川匡俊

〔研究論文〕

戦後の部落問題と仏教 近藤 祐昭

〔調査報告〕

寺院地域福祉活動の現状と可能性 小笠原慶彰

—本願寺派教団単位地域ブロック委員の意識調査を踏まえて— 中垣 昌美

〔研究ノート〕

浄土教福祉論の思想的問題 鈴木 善鳳

〔事務局報告〕〔会則・理事会規程〕〔会員名簿〕〔編集後記〕

〔第30号〕平成11年刊

〔公開講演〕

臨終と福祉—仏教とターミナル・ケア— 庵谷 行亨

〔公開シンポジウム〕

臨終と福祉 シンポジスト 庵谷 行亨

柴田 寛彦

金 貞鏞

コメンテーター 水谷 幸正

コーディネーター 田宮 仁

〔特別寄稿〕

日本仏教社会福祉学会の回顧と展望 西光 義敏

—薄明のなかにたたずみ想う—

〔研究論文〕

中西雄洞の修養論 土井 直子

—『労働共済』誌上にみる商工青年会と中西雄洞—

〔海外情報〕

Bangladesh の仏教福祉 その2 谷山 洋三

—社会福祉についての意識—

〔研究ノート〕

仏教社会福祉の主体的契機について 長崎 陽子

〔事務局報告〕〔会則・理事会規程〕〔会員名簿〕〔編集後記〕

〔第29号〕平成10年刊

〔公開講演〕

日米ボランティア考 猿谷 要

〔公開シンポジウム〕

仏教とボランティア活動

シンポジスト 中嶋 儀一

有馬 実成

大河内秀人

コメンテーター 重田 信一

コーディネーター 石川 到覚

〔研究論文〕

高齢者離婚事例に見る現代家族の危機

東 一英

仏教社会福祉に関する日韓の比較研究

株本 千鶴

—その三 仏教系老人福祉施設利用者の生活実態をめぐって—

金 貞鏞

田宮 仁

戦前期における浅草寺社会事業に関する考察

大久保秀子

—『浅草寺社会事業年報』をめぐって—

〔海外情報〕

バングラデシュの仏教福祉 その1—Āśram (養護施設)—

谷山 洋三

〔事務局報告〕〔会則・理事会規程〕〔会員名簿〕〔編集後記〕

〔第28号〕平成9年刊

〔公開シンポジウム〕

仏教福祉再考

シンポジスト 長谷川匡俊

中垣 昌美

高石 史人

司会 石川 到覚

〔研究論文〕

近代社会と仏教福祉実践—九条武子と関東大震災—

佐賀枝夏文

安達憲忠の仏教社会事業思想—『貧か富か』を中心に—

土井 直子

仏教司法福祉実践試論—高齢者離婚事件—

桑原 洋子

東 一英

吉元 信行

新居 澄子

〔活動報告〕

東光寺における痴呆性老人のデイケアについて

木川 敏雄

〔研究ノート〕

浄土宗のこども図書館とコミュニティ

栗田 修司

—児童福祉の視点から—

〔事務局報告〕〔会則・理事会規程〕〔会員名簿〕〔編集後記〕

〔第27号〕平成9年刊

〔公開講演〕

真言宗と社会福祉—高野山の場合—

和多 秀乘

〔公開シンポジウム〕

仏教福祉と地域社会—地域相扶と「共済」—

演者 池田 敬正

重田 信一

司会 岩見 恭子

〔特別分科会〕「仏教福祉と阪神・淡路大震災」

阪神大震災救助活動

川原 光祐

阪神・淡路大震災における

村井 龍治

真宗本願寺派寺院の被災状況および救援活動の実態

中垣 昌美

阪神大震災と仏教福祉

桂 泰三

高野山大学のボランティア活動報告

所 祥瑞

司会 菊池 正治

宮城洋一郎

〔研究論文〕

仏教社会福祉に関する日韓の比較研究

株本 千鶴

—その一 韓国・曹溪宗の仏教福祉活動を中心に—

金 慧樟

瓜生 岩と児童教育事業

田宮 仁

仏教婦人会活動と社会事業

合田 誠

—浄土真宗本願寺派の仏教婦人会を手がかりに—

中垣 昌美

徳広 圭子

〔活動報告〕

アユス（仏教国際協力ネットワーク）の活動について

水谷 浩志

〔事務局報告〕〔会則・理事会規程〕〔会員名簿〕〔編集後記〕

〔第26号〕平成7年刊

〔公開講演〕

空也上人の生涯と思想

川崎 龍性

〔公開シンポジウム〕

仏教福祉と国際家族年

演者 安部 行照

岩見 恭子

中垣 昌美

司会 菊池 正治

〔研究論文〕

パーリ仏教における慈悲

柏原 信行

慈悲考—原始仏教に見られる福祉思想の原点—

谷山 洋三

大正期仏教免囚保護事業の動向	村井 龍治
	滝村 雅人
現代僧侶の福祉意識	清水 海隆
鹿児島県の過疎問題と仏教福祉	桂 泰三
〔研究ノート〕	
空海の密教における福祉理念—『大日経』を題材として—	湯通堂法姫
〔事務局報告〕〔会則・理事会規程〕〔会員名簿〕〔編集後記〕	
〔第25号〕平成6年刊	
〔公開講演〕	
大西良慶和上の人となりと社会奉仕	森 清範
〔公開シンポジウム〕	
日本における仏教福祉の原点を探る	演者 中井 真孝
	宮城洋一郎
	西光 義敏
	助言者 中垣 昌美
	北元 昭性
	司会 池田 敬正
〔研究論文〕	
仏教護国団と京都養老院の設立	池田 敬正
仏教司法福祉実践試論（二）	桑原 洋子
—家事調停事件と保護観察中の少年のケースを素材として—	東 一英
	吉元 信行
	新居 澄子
仏教社会事業学説史の研究	中垣 昌美
	池田 和彦
〔実践報告〕	
養護施設における家庭機能	松尾 正澄
〔海外情報〕	
ライファーズ（終身刑者）の悲嘆と再生	島崎 義孝
〔事務局報告〕〔会則・理事会規程〕〔会員名簿〕	
〔日本仏教社会福祉学会年報総目次〕〔編集後記〕	
〔第24号〕平成5年刊	
〔公開講演〕	
子どもの仕合わせを考える	福田 杲正
—仏陀の教えをいただくものとして—	

〔公開シンポジウム〕

仏教思想が児童福祉に与える影響

演者 萩野 芳昭
佐賀枝夏文
福田 杲正
司会 一柳 豊勝

〔研究論文〕

ビハーラ活動の現代的役割

奈倉 道隆

—浄土真宗本願寺派の実践を通じて—

福祉の基底としての仏教

安藤 順一

平安仏教の社会的実践と良吏について

宮城洋一郎

大正期仏教児童保護事業の動向

中垣 昌美

—保育事業と日曜学校の関わりから—

村井 龍治

滝村 雅人

〔研究ノート〕

林靈法氏の仏教福祉論

服部 正穂

〔海外情報〕

国際ボランティア組織としてのSVA

原田 克己

〔事務局報告〕〔会則・理事会規程〕〔会員名簿〕〔編集後記〕

〔第23号〕平成4年刊

〔公開講演〕

人生は間取りよく

関山 和夫

〔公開シンポジウム〕

社会福祉実践における宗教の役割

演者 池田 敬正
岡田藤太郎
生駒 孝彰
司会 林 信明

〔研究論文〕

韓国仏教社会福祉の課題と展望

慎 燮重

仏教倫理と現代社会

水谷 幸正

黄衣のソーシャルワーカー—スリランカの仏教福祉事例—

上田 千秋

ターミナル・ケアと仏教福祉—その二—

田宮 仁

〔研究ノート〕

学生相談にみる福祉課題の諸相

佐賀枝夏文

〔施設紹介〕

京都文教短期大学付属家政城陽幼稚園

安藤 和彦

〔海外情報〕

アメリカ西海岸の仏教グループとエイズ・プロジェクト
〔事務局報告〕〔会則・理事会規程〕〔会員名簿〕〔編集後記〕

島崎 義孝

〔第22号〕平成3年刊

〔公開講演〕

仏教と福祉

武邑 尚邦

〔公開シンポジウム〕

老人福祉と仏教

演者 上田 千秋

前田甲子郎

武邑 尚邦

司会 宇治谷義雄

〔研究論文〕

重源の社会的実践について

宮城洋一郎

聖ヴァンサン・ド・ポールの信仰と救済

林 信明

『浄土教報』等に見る「社会事業」展開の一考察

硯川 真旬

—とくに大正期について—

ターミナル・ケアと仏教福祉—その—

田宮 仁

〔研究ノート〕

仏教社会福祉学における人物史研究

村井 龍治

—明治期仏教慈善事業実践者を中心に—

社会福祉におけるプララリズム

奥山 桂子

〔施設紹介〕

養護施設「南山寮」

佐藤 憲章

〔自由投稿〕

仏教福祉の視覚と死角

島崎 義孝

〔学会だより〕

事務局報告、会則・理事会規程、会員名簿、編集後記

〔第21号〕平成2年刊

〔公開講演〕

仏教と福祉ボランティアズム

吉田 久一

〔公開シンポジウム〕

仏教福祉とターミナルケア

演者 原田 正二

黒川 昭登

福井 光寿

司会 中垣 昌美

桑原 洋子

〔研究論文〕

親鸞の福祉思想—主体性と連帯性—

上原 英正

近代日本免囚保護事業史における仏教寺院の役割

梅原 基雄

ターミナル・ケアにおけるホスピスとビハーラ

原田 克己

〔実践報告〕

老人ターミナルケアの問題

兼頭 吉市

—特別養護老人ホームでの実践を通じて—

〔施設紹介〕

施設処遇の拡大と地方寺院の開放

菅野 弘一

〔学会だより〕

事務局報告、会則・理事会規程、会員名簿、編集後記

〔第20号〕平成元年刊

〔公開講演〕

仏教福祉への期待—市民の立場から—

水江 信雄

仏教福祉の可能性—対象喪失と悲哀の仕事—

小此木啓吾

〔第23回大会公開シンポジウム報告〕

仏教福祉とターミナル・ケア—仏教福祉の広がり求めて—

田宮 仁

斎藤 芳雄

小泉 敬信

鵜飼 泉道

木曾 隆

〔論文〕

仏陀最晩年の福祉思想

吉元 信行

「ビハーラ」その空間への詩論

菅野 実

小野田泰明

間瀬 正彦

実行の人・加藤時次郎—その社会事業実践を中心に—

向井 啓二

近代大谷派教団社会事業の研究

佐賀枝夏文

—留岡幸助と大草慧実の対立抗争をめぐって—

〔研究ノート〕

知恩院社会課の社会事業活動について

松尾 信亮

〔実践記録〕

老人相談についての一考察

井上 敏機

—特別養護老人ホームを中心として—

〔学会だより〕

事務局報告、会則・理事会規程、会員名簿、編集後記

〔第19号〕昭和63年刊

〔第22回大会公開講演〕

良寛の社会福祉

柳田 聖山

〔特別寄稿論文〕

仏教社会福祉の回顧と展望

守屋 茂

—人格的人間の失地回復をめざして—

〔論文〕

「福田会」の研究

小野 文班

清水 海隆

叡尊の「非人」救済について

宮城洋一郎

非行臨床実務に生きる仏教理念

桑原 洋子

東 一英

吉元 信行

仏教カウンセリング（3）

木川 敏雄

〔実践記録〕

老人・病人に対する仏教ケア

西光 義敏

〔資料紹介〕

宗教大学の社会事業教育に伴う調査活動

石川 到覚

落合 崇志

〔学会だより〕

敬弔 吹田盛徳先生（上田千秋）、事務局報告、会員名簿、編集後記

〔第18号〕昭和62年刊

〔第21回大会公開講演〕

自然保護の論理と倫理

沼田 真

ディアコニアについて

深津 文雄

〔論文〕

仏教カウンセリング（2）

木川 敏雄

—『大乘起信論』における熏習論のカウンセリング的理解—

ヒューマン・エコロジー派ソーシャル・ワークの「東洋的宗教」への

岡田 真

問いかけ—C.B.Germain からの「評価」が「問いかけ」るもの—

律令国家の賑給政策と行基の救済事業

宮城洋一郎

観無量寿経に現れた社会福祉的援助法

宇治谷義雄

寺院の援助相談（その五）

佐藤 光兆

—他人の問題で困っていることを訴える二つの事例について—

保育内容の研究—どろんこ保育の基礎理論—

塩川 寿平

〔学会だより〕

事務局報告、会則・理事会規程、会員名簿、編集後記

〔第17号〕昭和61年刊

〔大会公開講座〕

福祉と真宗

浜田 耕生

私と親鸞

三国連太郎

〔論文〕

大関尚之の仏教日曜学校観

村上尚三郎

仏教と老人福祉—老人ホームにおけるターミナル・ケア—

田宮 仁

小山 剛

真宗教学の立場から見た社会福祉方法

兼頭 吉市

仏教カウンセリング

宇治谷義雄

仏教福祉を取り入れた老人楽団の実践活動

木川 敏雄

寺院の援助相談（その四）—中心的教本とその活用（2）—

寺本 正範

浄土教における仏教社会福祉活動の原理

佐藤 光兆

奈倉 道隆

〔学会だより〕

事務局報告、会則・理事会規程、会員名簿、編集後記

〔第16号〕昭和60年刊

〔第19回大会公開講演〕

現代における福祉問題の焦点

林 靈法

—社会福祉に対する基本的な疑問—

〔論文〕

社会福祉の危機と仏教福祉—基礎福祉と社会的連帯を追う—

守屋 茂

近代における本願寺教団と社会事業

中垣 昌美

寺院の援助相談（その三）—中心的教本とその活用について—

長上 深雪

ソーシャルワークにおける仏教理念の活用

佐藤 光兆

—ソーシャルワーク実践試論—

桑原 洋子

吉元 信行

東 一英

〔学会だより〕

事務局報告、会則・理事会規程、会員名簿、編集後記

〔第15号〕昭和59年刊

〔第18回大会公開講演〕

菩薩について

真野 龍海

〔論文〕

宗教大学社会事業研究室の開室をめぐって

落合 崇志

武内了温にみる社会事業観

石川 到覚

寺院の援助相談（その二）

菊池 正治

佐藤 光兆

—感情誘因性妄想様思考の来談者について—

老人の終末への不安と仏教社会福祉—安楽死論議への疑問—

奈倉 道隆

ある生活保護受給老人の生活保障問題と寺院・地域社会

伊藤 秀一

—東北の人口一万余の町の場合—

〔学会だより〕

事業局報告、会則・理事会規程、会員名簿、編集後記

〔第14号〕昭和58年刊

〔第17回大会公開講演〕

仏教者の社会的役割

信楽 峻磨

〔論文〕

仏教と社会福祉の接点—前提条件についての試論—

田宮 仁

仏教者の「社会福祉」活動は今後も先駆性をもつか

佐々木元禧

—仏教徒方面委員活動から思っていたること—

仏教社会事業の再吟味

守屋 茂

—親鸞のいう浄土の慈悲を視点として—

障害者福祉と禅—禅門仮名法語からの考察—

池田 豊人

〔学会だより〕

会則、理事会規程、会員名簿、編集後記

〔第13号〕昭和57年刊

〔第16回大会公開講演〕

障害者への理解のために

掘 要

〔シンポジウム〕

障害者福祉における仏教者の立場

高石 史人

常盤 勝憲

寺嶋 久男

〔論文〕

盲人教育・福祉における仏教の役割

赤阪 一

—「慈眼視衆生」山本暁得と仏眼協会—

昭徳会における仏教福祉

宇治谷義雄

音楽を通した仏教福祉の実践

寺本 正範

寺院に於ける援助相談について
国際障害者年と仏教教団
〔学会記事〕

佐藤 光兆
大橋 隆憲

〔第12号〕昭和56年刊

〔シンポジウム〕

近代仏教と社会福祉—大乘仏教の立場から見る—
〔論文〕

森永 松信

仏教社会事業の課題
—体験としての全人格的人間像を目指して—
守屋 茂

近代仏教と社会福祉
〔学会記事〕〔会員名簿〕

芹川 博通

〔第11号〕昭和54年刊

〔論文〕

浄土真宗における社会福祉
宇治谷義雄

大乘仏教精神と社会福祉
森永 松信

仏教社会事業史—考—仏教教団と社会事業従事者養成—
菊池 正治

佐伯祐正にみる社会事業観
込谷 明

アメリカにおける社会福祉と仏教
西光 義敏

仏教における障害者観の一考察 I
内海 正

—主として概念及び原因論について—

時衆における四恩思想について
早坂 博

障害児教育・福祉開創の軌跡—近代京都の精神風土—
赤阪 一

あいりん地区の就労形態—手配師と公的あっせん—
釈 智徳

〔第9・10合併号〕昭和53年刊

〔論文〕

浄土教と社会福祉
奈倉 道隆

四無量再考
奈倉 民子

作法に関する道元の説示と精神薄弱教育
村上 真完

—基本的生活習慣の教育的意義—
内海 正

西光万吉における「親鸞」
近藤 祐昭

仏教社会事業の問題点
西山 廣宣

—施設機関と宗教（仏教）との関係—
望月 一憲

聖徳太子の慈悲観

「自閉児の教育の方法」に関する考察	河添 邦俊
〔発表レジメ〕	
長谷川良信の仏教社会事業について	長谷川匡俊
救療事業と真言律	広瀬 智一
一遍と非人の問題について	早坂 博
〔学会記事〕	

〔第7・8合併号〕昭和50年刊

〔論叢〕	
日本仏教社会事業への提言—風土と主体性を中心に—	上田 官治
老人が神仏に楽死を祈る流行	福原 蓮月
〔所感〕	
年報特集号「仏教社会事業の基本問題」について	上田 官治
仏教社会事業の諸説を巡って	守屋 茂
〔学会記事〕〔消息〕	

〔年報特集号〕『仏教社会事業の基本問題』昭和49年刊

仏教社会事業の現状と問題点	西光 義敏
大衆の福祉開発をめざして	福原 亮巖
核心としての精神的要素	道端 良秀
自他の価値づけと妥当の普遍化	森永 松信
内観的主体性の確立	西山 廣宣
仏教社会事業の論理	守屋 茂

〔第6号〕昭和49年刊

〔論叢〕	
平安時代の社会救済活動について	早坂 博
仏教社会事業の将来に対する問題点	田岡 貫道
教団社会事業の特質	原田 克己
東北仏教社会事業の歴史的検討	田代国次郎
社会福祉の動向と仏教社会福祉事業	中田 幸子
〔学会記事〕	

〔第4・5合併号〕昭和48年刊

〔論叢〕	
社会生活と仏教社会福祉	森永 松信
イデオロギーと仏教社会福祉学	西山 廣宣

—仏教と社会主義ということを中心に—	
仏教社会事業考察の前提	清水 教恵
仏教社会事業の回顧と東北仏教社会福祉史の研究	田代国次郎
最澄の思想と社会事業	早坂 博
佐伯祐正における仏教と社会事業	中下 公陽
社会福祉専門職集団における宗教とエトス	原田 克己
[学会記事]	

〔第2・3合併号〕昭和46年刊

〔論叢〕

慈悲行の成立に関して	村上 真完
仏教福祉理念としての檀波羅蜜についての一試論	西山 廣宣
—仏教改革の思想(二)—	
明治期における仏教社会事業—近代仏教の形成と児童保護—	加藤 展博
聴くことの背景	松田 紹典
仏教社会事業と福祉国家論	原田 克己
仏教社会事業のねらい(究極するもの)	福井 豊信
仏教社会事業の基本的性格について—東洋的伝統を顧みて—	守屋 茂
仏教社会福祉論の成立基底	武田 忠
民間遊行僧の救済活動とその思想的背景	早坂 博
仏教社会福祉の基本的原理	森永 松信

〔第1号〕昭和44年刊

〔研究発表〕(要旨)

仏教慈悲思想—聖徳太子を中心として—	早坂 博
中国仏教社会福祉の問題点	道端 良秀
コミュニティーセンターとしての寺院の役割	北崎 耕堂
新興宗教の功罪と社会福祉	中村 康隆
仏教相談活動の問題点	西光 義敏

[学会記事] [仏教社会事業関係文献目録] [学会会則] [会員等名簿]